

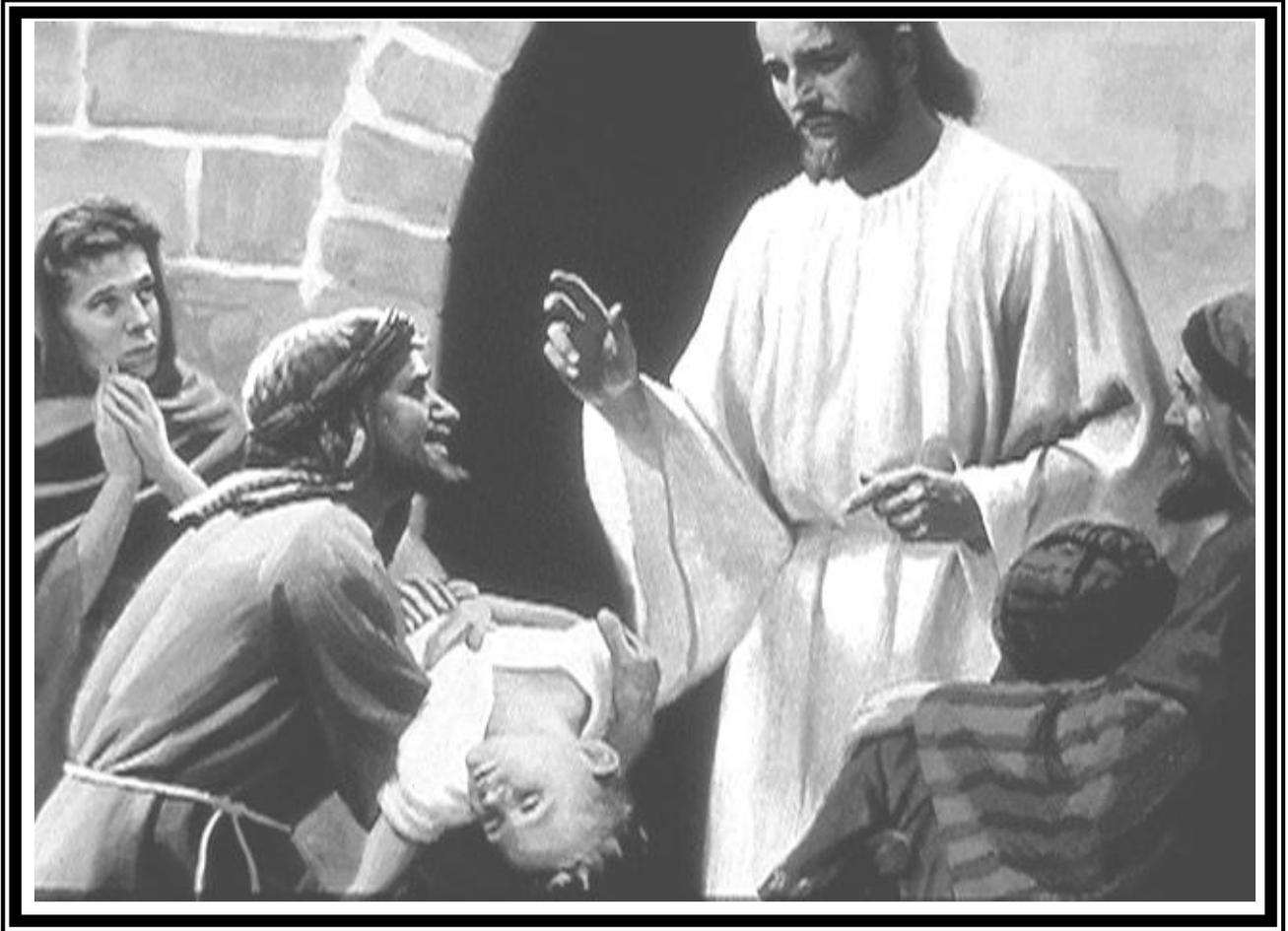


アンカー

32号

Anchor

2004年1月



真の医事伝道に生きて
癒しの奉仕—自然療法



灰の都市、ソドム・ゴモラの発見！
現代人への警告！
ついに動き出したアメリカ—国主義
—20ドル紙幣の真相？

失われた灰の都市ーソドムとゴモラ

現代人に警告する世紀の発見!

全く灰と化した荒涼たる都市の残骸

地球上で最も荒廃した地域の一つに、かつて大都市であった灰の都市の廃墟が発見された。その中で発見された証拠は疑いの余地がない。聖書だけがその説明を可能にしてくれる...

それはソドムとゴモラの失われた諸都市である。

欧米諸国では、その文化が聖書に基づいているだけに、ソドム、ゴモラということはよく聞かれる言葉である。ソドムとゴモラは実際にあった都市であろうか。ソドム、ゴモラが天から火と硫黄が降ってきて滅ぼされたということは実際にあったのであろうか？

聖書の記述は、そのまま信じるに値するものである。「人間の自負心や偏見に汚されない人類歴史の記録は聖書の中にだけある」教育 205。ソドムとゴモラについて記されている聖書の記録は完全に信頼できるものである。それに加えて慈しみ深い神は、疑い深い人類のために、今なお見えるように考古学上の証拠を与えておられることは誠に感謝すべきことである。

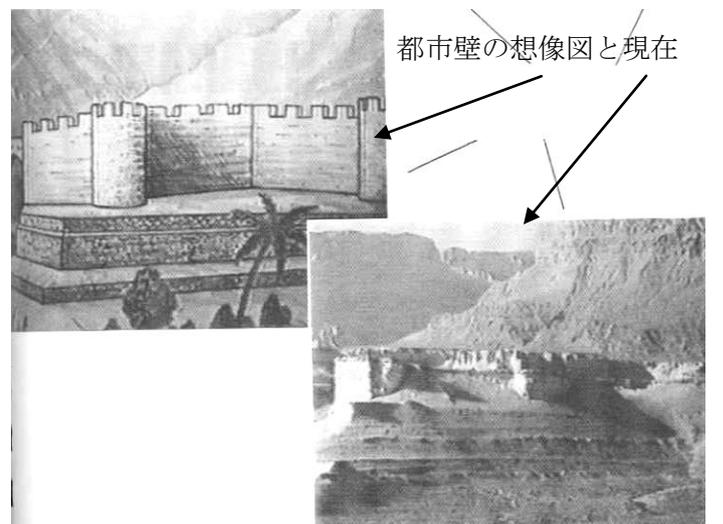
ある人々はソドム、ゴモラはただの物語であって、実際には存在しなかったという。しかし神は、終末時代の人類に警告するためロン・ワイヤットにこの古代都市を発見させたのである。それは死海の西側に沿って発見された。

死海の溪谷は地球上で最も低い地点である。それはイスラエルとヨルダンの間に位置し、海面より 1,300 フィートも低くなっている。

ここでは事実上何も育たない。死海の水の中では魚も生き延びられない。なぜなら、そこは海水より何倍も塩辛いからである。荒廃した岸には古代の樹木の切り株が塩で覆われて立っている。

夏になると、谷間一帯は、オープンの中で焼かれるようだ。この辺一帯が美しい園で、異例なほど肥沃なところであったとは信じがたい。

伝説のソドムとゴモラの都市は、実にこの場所に繁栄していたのである。そして、それらはかなりの大都市であった。この現場から離れた溪谷で働いていた考古学者らは百万人を収容できる巨大な墓を発見している。このことは、これらの都市が空から火と硫黄が降って崩壊する前にどれほど発展していたかを示している。



ソドム、ゴモラの発見！

推測されていた場所ではなかった！

ソドムとゴモラの場所は今まで不明であり、学者の推測が地図にも記載されている。いくつかの説がある。一つはこれらの都市は死海の南端の海の底にあるという。もう一つは死海の北の底にあるという。

証拠は全然ない。「いのちのことば社」の聖書辞典には「ソドムの位置は不明」として、死海の北方説と南方説を紹介している。



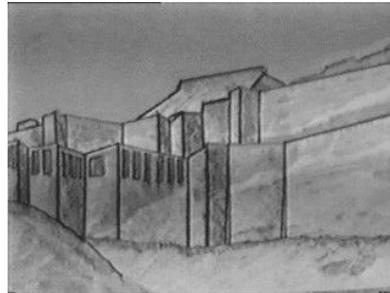
聖書にはソドムとゴモラと並んで他の都市についても言及されている。「カナンびとの境はシドンからゲラルを経てガザに至り、ソドム、ゴモラ、アダマ、ゼボイムを経て、レシヤに及んだ。」創世記 10:19

「これらの王はソドムの王ベラ、ゴモラの王ビルシャ、アダマの王シナブ、ゼボイムの王セメベル、およびベラすなわちゾアルの王と戦った。」創世記 14:2 となっており、五つの町の名が挙げられている。

これらの町々についても現代まで不明のままであった。しかし、この終わりの時に、神が近代考古学上の重要な発見をしたロン・ワイヤットを用いてソドムに連なる都市の発見に導いたのは、くすしき摂理であったと信じる。

ロンはこれらの都市の場所を捜すことを意図していたのではなかった。けれども 1987 年からずっと、彼は聖書に記されている種々の重要な場所を探す旅行をしていて、ちょうど死海あたりに来た。1980 年の初期にも彼は奇妙な場所に出くわしてびっくりしていたのである。彼にとってそれは、白っぽい色をした城壁と建物のように見えるただの地層だと思っていた。何年もの間、彼はその疑問を解こうとしなかった。しかし、1989 年、聖書に記されている五つの町が近隣にあるのではないかと思った彼は、仲間を連れて更なる詳しい調査に入った。

綿密に調査しようと近寄ってその辺りをドライブした。そしてロンはこれらの白っぽい色の形成層群が普通の地層ではないことを確信するに至った。



想像図



と 現在

創世記 10:19 に「カナンびとの境はシドンからゲラルを経てガザに至り、ソドム、ゴモラ、アダマ、ゼボイムを経て、レシヤに及んだ。」とある。彼は、これらの都市はカナン人の境にある一連の都市に違いないと思った。

ロンはこれらの都市の中に、すべて完全に灰でできた建物のような構造をしたものがあることに気付いた。今日も人がまだ入ることができる部屋がある。彼は、連結している道路、ジグラットとスフィンクス、すべて塀で囲まれた伝統的な都市を見いだした。



スフィンクス

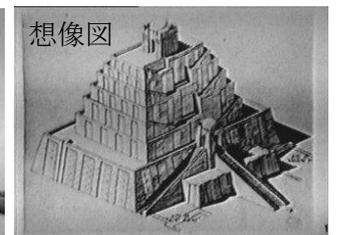
場所はどこにあったのか？

彼は聖書を手がかりに熱心に調査を続行していった。もし、ソドム、ゴモラ、アダマ、ゼボイムと一緒にまとめられて聖書に言われているなら、五つの町全部、同じ場所にあるに違いない。「いのちのことば社」の地図に書かれているように。それが通常の見方であった。しかし、ロン・ワイヤットは死海に沿った西側 80 キロ以上の距離の中に、これらの都市が散らばっていることに気付いた。最も信じ難いことを見いだしたのは、最後の場所ゼボイムであった。ロンは、最後の灰の都市ゼボイムを死海の北の方に発見した。それはサムエル上 13:15-18 にこう書かれていることに一致している：



ジグラット

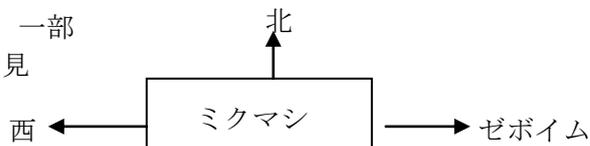
現在



想像図

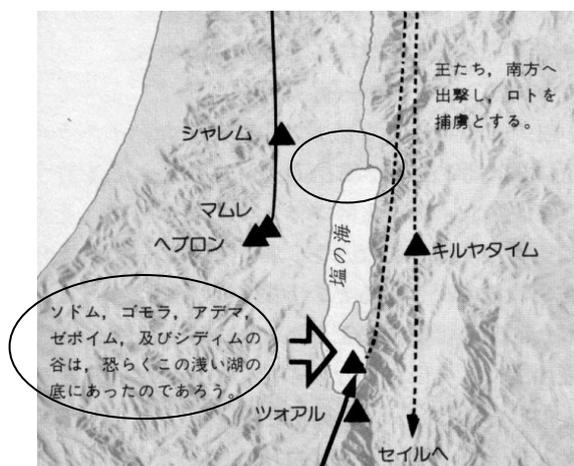
「こうしてサムエルは立って、ギルガルからベニヤミンのギベアに上っていった。サウルは共にいる民を数えてみたが、おおよそ六百人あった。サウルとその子ヨナタン、ならびに、共にいる民は、ベニヤミンのゲバにおり、ペリシテびとはミクマシに陣を張っていた。そしてペリシテびとの陣から三つの部隊にわかれた略奪隊が出てきて、一部隊はオフラの方に向かって、シュアルの地に行き、一部隊はベテホロンの方に向かい、一部隊は荒野の方のゼボイムの谷を見おろす境の方に向かった。」

ペリシテ人はミクマシから一部隊は北に、一部隊は西に、一部隊は東—ゼボイムの方に行った。そこはロンが灰の都市を見つけた方向である。

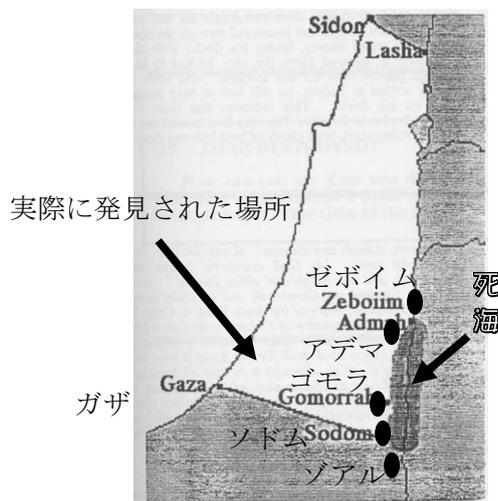


次の聖句はソドム、ゴモラその他の都市がひとかたまりにあったのではなく、散らばっていたことを最もよく表していると思う。

「カナンびとの境はシドンからゲラルを経てガザに至り、ソドム、ゴモラ、アダマ、ゼボイムを経て、レシヤに及んだ。」創世記 10:19



南方説の推測場所



特異な証拠「硫黄」

現場一帯に純粋で極めて異常な硫黄の玉

聖書は言う：「主は硫黄と火とを主の所すなわち天からソドムとゴモラの上に降らせて」創世記 19:24。

猛烈な火と硫黄が天から降ってくるというその超自然的な現象を考えると、そのような硫黄にはユニークな特徴が期待されるであろうが、まさにこの場合はそれである。地熱（地下の岩石中に保持されている熱をいう）地域で見いだされる硫黄は一定不変にひし形の「斜方晶系」でよく知られている明るい黄色なのではっきりしている。

それと対照的に、これらの死海現場からの硫黄は、青白い「単斜晶系」の形である。硫黄は今までの例では、ある長い期間、高熱にさらされるとこの形に変わるのである。



灰の中に打ち込まれている硫黄の玉

X線蛍光半定量分析と他のテストは、硫黄の玉は98.4%の純粋な硫黄で、自然に見いだされる硫黄よりもかなり純粋であることを示している。

硫黄の玉は、破壊された五つの都市全部で見つかった。多数の地質学者の意見を聞いたが、自然に見いだされる硫黄で、地上のどこでもこれらの場所で見られるような形に少しでも似ている例は見つかっていないという。

所々に焼かれた粘土と木炭の残骸も見つけることができる。すべての証拠を考慮してはっきりすることは、これらの現場はある人たちがほのめかしているような干上がった湖の沈殿物や火山活動の結果ではない。膨大な証拠の唯一の説明は、創世記 19:24に見いだされる。すなわち火と硫黄とによる完全な破壊である！これらの都市の状態は実に聖書が言っているとおりである。すなわち「ソドムとゴモラの町々を灰に帰せしめて破滅に処し」と。(IIペテロ 2:6)

最後の時代に対する神のさばきの警告

記録によるとソドムとゴモラの都市は性倒錯と不品行の温床であった。聖書に「ソドム、ゴモラも、まわりの町々も、同様であって、同じように淫行にふけり、不自然な肉欲に走ったので、永遠の火の刑罰を受け、人々の見せしめにされている。」(ユダ7)と記されている。

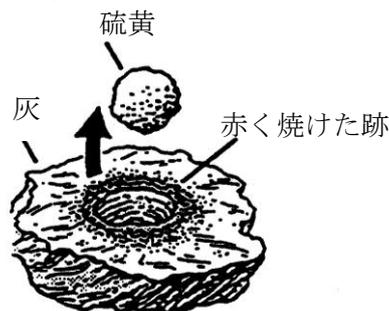
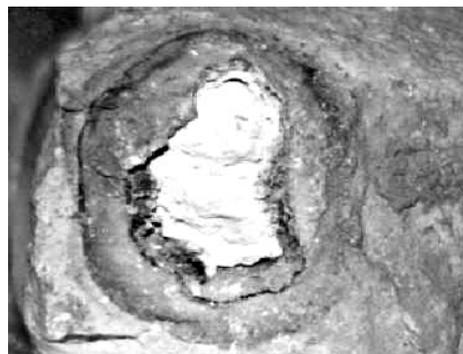
そこは神の寛容の限度を超えるほどあまりにも墮落していた都市であった。今日、英語で「**Sodomy** ソドミー」と言えば、あの邪悪な都市で行われていた同性間の性行為、獣姦、異性間の異常性行為を意味する言葉になっている。

イエスは言われた：「ロトがソドムから出て行った日に、天から火と硫黄とが降ってきて、彼らをことごとく滅ぼした」ルカ 17:29。「あなたがたに言う。さばきの日には、ソドムの地の方がおまえよりは耐えやすいであろう」マタイ 11:24。神は、不義なる者に与えられる刑罰が確かであることを教えるために今日まで灰の都市を残されたのである。その滅びは徹底的なものであった。このようなことは人類歴史上他に類を見ない。

たとえば、紀元 79 年にヴェスヴィオ火山の噴火で埋没した古代都市ポンペイは、火山灰がすべてを覆って都市を埋め尽くしてしまった。ポンペイの中には元の状態のままの絵画が家々の壁に見られるし、家財道具などもそのまま出土している。

しかし、ソドムとゴモラの場合は 3,900 年前に天から火と硫黄が降ってきて、すべてが全く灰と化してしまったのである。これは単に通常の燃焼ではなかった。ロン・ワイアットによって失われた都市で発見された骸骨は、骨髄が見えるほどであったが、それは全く灰と化していたのである。石造建築物さえも灰と化し、かつて肥沃な土地が今では世界で最も荒廃したところとなり、死海の溪谷一帯は荒涼とした月の表面のようになっているのである。

「後の代の人」が「全地は硫黄となり、塩となり、焼け土となって、種もまかれず、実も結ばず、なんの草も生じなくなった」のはなぜかと聞いて罪の恐ろしさを知り、悔いて真の神に立ち返るように、愛の神が現代人に訴えておられるのである。(申命記 29:22, 23)



真の医事伝道に生きて

昨年 10 月、アメリカのシアトルから韓国出身のドクター・イムを招待して 1 週間にわたるセミナーを持った。その反響はすばらしかった。自然療法はわが教会においては流行らなくなっているが、ドクター・イムの体験は、神が単純な自然療法をどんなに祝福なさるかということ



実感させてくれた。薬物療法、化学療法が過度に進歩している今日、なお、神の方法は優れていると神に栄光を帰すセミナーであった。イム先生は10年も普通の医療機関で働いていたセブンスデー・アドベンチストの医者であったが、あまりにも多くのがん患者を助けることのできない自分に失望し自然療法を研究して、神のくすしきみ業を体験しておられる方である。ジュース断食で体をクレンジ(浄化)することがまず基本だというのである。だから、イム先生のクリニックは「クレンジング・ウェイ」と呼んでいる。出席された方には、その威力を体験している方々がいる。

勤務医時代

イム医師は今から約40年前、フロリダ州のオークランドにある大きな病院の勤務医として医師の働きを始めました。この病院は世界のSDA病院の中でも最も大きく、360人もアドベンチストの医師が働く大病院でした。彼はアドベンチストの医師でしたが、多くの医者同様、プール付きの豪華な家に住み、キャデラックに乗り、富裕な生活をしていました。また、健康に対する意識も特別なく、ジャンクフードを食べ、夜の更けるまでテレビを見続け、さらにはコーラの飲み放題という暮らしぶりでした。こんな具合で、イム医師は、病院の勤務が終わって、自宅に帰るとすぐにテレビの前に座り、夕食後も夜更けまで、時には6時間もテレビを見るというような生活を10年近く送りました。



患者を生かす医療—神様の方法で

彼は医学校を卒業して病院で働き始めた時には「自分はどんな患者も治してみせる」と意気込んでいました。しかし担当するガン患者は治るどころか次々と死んでいくのを見て、「自分は患者を生かしているのか、殺しているのか」と徐々に考えるようになってきました。そしてイム医師はエレン・G・ホワイトの「食事と食物に関する勧告」を読みました。彼はこの本を真剣に読み、感服し、神が指導しておられる食事と癒しに関するすべての原則をこの書物から学び取りました。そしてついに現代医学による治療を止めることにし、同じフロリダ州に自然療法を試みるため、小さなクリニックを開業しました。今から25年程前のことです。そこで自然療法をしていくうちに患者はどんどん良くなっていきました。



告訴

そうすると、良くなった患者がかつての主治医のところに行って、「先生、こんなに良くなりました。イム先生のところで」と話すようになりました。そうした例を多く耳にするようになった医師たちは、イム医師のしていることに対して面白くない思いを持つようになり、「あなたを告訴する」と言ってきました。「ジュースなどを飲ませてそれが治療か！ヤブ医者」とののしられました。そして米国医師会のトップの医師たちが、イム医師を始め、ハーブ療法などを取り入れている100人余りの医師たちを裁判所に訴えました。理由は医療ミスや麻薬の不当使用などでした。イム医師が訴えられた主な理由は、「イム医師が行っている医療は医学校で教えられているテキストに従うものではない」というものでした。そして彼は3ヶ月の営業停止処分を命じられたのです。彼の病院の周囲には黄色いテープが張り巡らされました。患者は当然来なくなりました。「裁判も待っている、これから自分はどうなるのか、医師の免許も剥奪されようとしている」と、彼は悩み苦しみました。さらに苦しみを増し加えたのは不正医者として訴えられたという辛さばかりではなく、「自然療法を始めてから患者は癒したけれど、自分は何も変わっていない、依然としてテレビ中毒だ」という自己嫌悪感と、変わることが出来ない自分の無力感によるものでした。



テレビの前で

告訴事件が起きる以前から、彼は奥さんから「テレビを見ることをもっと慎むように」という勧めを幾度も受けていました。そしてテレビを見ることに打ち勝とうとし、勝利する時もありました。しかし家に帰ると指は自動的にテレビのスイッチを押し、いったんテレビを見始めるともう止めることが出来ません。そしてある時、奥

さんが夢を見ました。それは天国に行った時の夢です。再臨の後、天国で多くの友人たちと再会を喜びあうのですが、しばらくして自分の夫が見当たらないことに気がついて、あたりを捜します。いくら捜しても見つからないのでイエス様に「私の夫はどこでしょう？」と尋ねます。するとイエス様は下を指差します。見てみると、そこは地上でした。そこには夫がいて、夫は依然としてテレビの前に座っているのです。イム医師は妻の夢を聞いて情けなくなりました。「本当だ、自分はこのままでは失われてしまう」。告訴事件の中で苦しみながら、初めて本気で「テレビをやめよう」と思うことができました。

神への完全降伏

これらの出来事はみな神様のご計画だったのでしょう。この苦しみの中で彼は自然とテレビを見る習慣から離れることができました。裁判を控え、テレビを見て楽しむ気にもなれなくなっていたのです。そしてテレビを捨てました。捨てたのはテレビばかりではありません。彼は苦しみの中で神様に完全に屈服し、テレビを見たい自分も、そして医師の免許さえも神様に捧げてすべてをゆだねたのです。自分は神様のためなら医者でなくてもかまわない、たとい皿洗いの仕事でもいい、ただ神様に忠実に従っていただけで良いと心の底から思うことが出来て、すべてを捧げますと心から祈ることが出来ました。これは、裁判の3日前のことでした。この時から彼には完全な平安と主にある喜びがありました。

裁判—天使も

さて裁判の日がやってきました。裁判長が起訴状を読み上げているのを彼は祈りながら聞いていました。そして12人の陪審員の方に顔を向けると、彼らの頭上に3人の天使が忙しそうに飛び回っているのが見えるではありませんか。天使は部屋から外へ、出たり入ったりと非常に忙しく行き来していました。彼らにとっては壁がないかのようでした。天使の姿を見て、「神様はここにいてくださる。神様が共にいてくださるのだ、自分は何と言われようと、何と偽証されようとかまわない、神様をご存知だ」と思えました。「神様がいてくださる！ 神様がここにいてくださるのだ」。イム医師は嬉しくてたまりませんでした。嬉しさのあまり顔がほころんで笑いさえ出てしまいました。側にいた弁護士は、不謹慎だと言わんばかりにひじで彼を突っつきました。裁判官が起訴状を読み終わると、陪審員たちに彼の医師としての国家資格を取り下げること賛成の者は挙手するように命じました。すると12人のうち2人が手を挙げました。「反対の者は？」と言うと、10人の陪審員達が手を挙げたのです。これには全く驚きました。陪審員のどの顔ぶれを見ても、いずれも自分を辞めさせたいと思っていた医師たちばかりだったからです。不思議なことが起こりました。全く不思議な出来事でした。彼らが裁判官の「賛成」と「反対」の言葉を聞き間違えたのか、あるいは良く聞き取れなかったのか、あるいは間違っただけで手を挙げたのか。ただ神様の働きとしか言いようがない出来事でした。

癒して下さるのは神様

彼は今から3年前にシアトルに移ってきました。彼はそこで、多くの患者を助けています。シアトルがあるワシントン州は自然が美しいところで、この州は米国でも唯一、自然療法による治療を公的に承認している州です。患者は、自分が受ける治療が通常の医療か、自然療法かを選ぶことが出来ます。最近のニュースでは自然療法による治療でも健康保険が適用になるということが発表されたそうです。彼のクリニックを手伝っているのは一組の老夫婦だけで、患者の実際的な世話はイム医師夫妻がしています。

心を探ってひざまずく

彼のクリニックでは、患者が癒される確率が非常に高いために、その評判と期待はおのずと広がり、当然、多くの重症患者、病院から匙をなげられた患者や病院治療に見切りをつけた患者から、「お世話になりたい」という電話がかかってきます。イム医師はその時に必ず「私は病気を治すことは出来ません。私は何もできない者です。ただあなたと一緒にひざまずいて祈るだけです。それで良かったら来て下さい」と話します。そして訪れた患者と家族の方々に、「ひざまずいてあなたを癒して下さる方に願いを捧げましょう」と言います。「ただその前に、神のみ前に罪があるかないか、共に探らなければなりません。神様に告白していない罪があるかないか、人に対しての悪い思い、許していない心、続けている悪い習慣などがないかどうか探って神に告白して、許しをいただきましょう。私自身も今そうします」と話して、神のみ前にへりくだって癒しを願う祈りをするそうです。

驚くべき癒し

イム医師のクリニックには驚くべき証が数多くあります。例えば、ある乳がんの患者は夢で「イム先生の所に行きなさい」と言われて来て、20センチあった腫瘍が3週間で15センチになりました。また、尿管がつまってひどい痛みを抱えた患者が訪れましたが、その時、通常使用しているモルヒネを忘れてきてしまって、ひどい

痛みに苦しみました。先生は彼のためにひざまずいて15分ぐらい祈りました。その間、誰かが彼の腰をさすってくれていたというのです。祈り終えた後、彼の痛みは全く無くなっていました。神様はお約束どおり、罪を深く悔いた、へりくだった者の祈りに確かに応えてくださったのです。

神への信頼

イム医師が用いている治療は3週間のジュース断食と合間に蒸留水を飲むことです。そして、患者を霊的に励まし、神に信頼してこれらの治療を行います。その結果、多くの人々が驚くべき癒しの体験をしています。

イム医師は、「すべてはイエス様の働きです。私たちは、ただみ言葉にある約束に信頼して患者に接するだけです。患者に接する者は、その態度も言葉も親切で柔和、誠実でいていねいであるように指導しています。そうした態度を見て患者は“神様がどんなに良いお方であるか”がわかるようになるからです。そしてそのような態度は患者の癒しにも大きく影響します」と言います。

医者は神様への橋渡し

彼は、そこのクリニックで毎月15人の患者を受け入れ、3週間の回復プログラムをしています。残りの1週間は自分の休暇や講演などに当てています。そこでの療法を通して多くの患者が回復しますが、彼がいつも患者に話すのは「ジュースが治したのではなく、神様が癒して下さったのです」ということです。手当てをするときにも常に神に祈ります。そして主にある希望を語ります。「医師は患者に、癒し主である神様に心を向けさせ、神に助けを求めさせる働きだ」と彼は言います。時には、ただ、電話で「あなたが患者にしている方法を教えてください」と尋ねてくる人たちがいます。その様な時には一通りジュース断食のプログラムを教えますが、その後、「あなたのおっしゃることをやってみましたが少しも良くなりませんでした」と言われることがあるそうです。そういう人たちには、「手当てそのものが組織を癒すではありません。手当てを通して、あなたを愛し癒しの力をもっておられる神様が癒して下さるのです。唯一の癒し主、神様に信頼しなければなりません」と話します。癒し主である神様に信頼することなしには、どんな治療も真の癒しをもたらさないからです。彼のクリニックを訪れると、きれいな患者用の家屋があり、その中の洗濯部屋のそばには、質素なイム医師夫妻の小さな部屋があるということです。「きつねには穴があり、鳥に巣はあれど、人の子は地の上に眠りたまいけり」と歌われるように、ただ黙々と人々の必要に応えながら謙遜に生きられたイエス様の御足跡を踏むこの夫妻を、天はあふれるばかりの祝福をもって報いてくださっているのです。美しいシアトルの小さなクリニックでなされている御旨にかなった奉仕において、神のみわざがますます現され、栄光が神に帰せられ、多くの方々が救い主を見いだしていくことでしょう。



癒 し の 奉 仕

神は、大いなる叫びの時になされるしるしと不思議といやしの奇跡に今から備えておいでになることを見せられて心から神を讃美したい。そこで靈感の書からいやしの奉仕について探ってみた。今後の皆様の研究の助けにしたい。そしてこの不信と疑い深い時代に神のみ業が短期間になし終えられる幻を持っていただきたい。

神はご自分の子らに健康と幸福を望んでおられる。病気になったら、救い主に癒しを求めるのは当然である。しかし、現代医学が極度に発達した現代でも神に癒しを求めていだろうか。

み言葉にはどんな約束があるだろうか。

神の約束：

出 15:26 「あなたが、もしあなたの神、主の声によく聞き従い、その目に正しいと見られることを行い、その戒めに耳を傾け、すべての定めを守るならば、わたしは、かつてエジプトびとに下した病を一つもあなたに下さないであろう。わたしは主であって、あなたをいやすものである。」

詩篇 103：3-5 「主はあなたのすべての不義をゆるし、あなたのすべての病をいやし、あなたのいのちを墓からあがないだし、いつくしみと、あわれみとをあなたにこうむらせ、あなたの生きながらえるかぎり、良き物をもってあなたを飽き足らせられる。こうしてあなたは若返って、わしのように新たになる。」

ヤコブ 5:14-16 「あなたがたの中に、病んでいる者があるか。その人は、教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリーブ油を注いで祈ってもらおうがよい。信仰による祈は、病んでいる人を救い、そして、主はその人を立ちあがらせて下さる。かつ、その人が罪を犯していたなら、それもゆるされる。だから、互に罪を告白し合い、また、いやされるようにお互いのために祈りなさい。義人の祈は、大いに力があり、効果のあるものである。」

これらの神の約束は旧約時代、初代教会に限られるものであったのだろうか。現代の預言者、エレン・ホワイトの言葉に次のような驚くべき約束がある。

各時代の希望下 370～373 から読んでみよう：

救い主は、「行って、すべての国民に教えよ」と言われたとき、またこう言われた、「信じる者には、このようなしるしが伴う。すなわち、彼らはわたしの名で悪霊を追い出し、新しい言葉を語り、へびをつかむであろう。また、毒を飲んで、決して害を受けない。病人に手をおけば、いやされる」(マルコ 16:17, 18)。この約束は、任命と同じように遠大なものである。全部の賜物が信者のひとりびとりに与えられるというのではない。

「御霊は思いのままに、それらを各自に分け与えられるのである」(コリント第一・12:11)。しかしみたまの賜物は、主の働きのためその必要に応じて、どの信者にも約束されている。この約束は使徒たちの時代と同様に今日も固く、信頼に値するものである。「信じる者には、このようなしるしが伴う」(マルコ 16:17)。これは神の子らの特権であって、信仰の証拠としてもつことのできるすべてのことを把握すべきである。「彼らは……病人に手をおけば、いやされる」(マルコ 16:18)。この世界は大きな病院であるが、キリストは病人をいやし、サタンのとりに救いを告げるためにこられた。イエスご自身は健康で元気だった。イエスはご自分の生命を、病人や、苦しんでいる者や、悪鬼にとりつかれている者にわけ与えられた。主は、いやしの力を受けるためにやってくる者をひとりも追いかえされなかった。主は助けを懇願する者たちが自分で病気を招いたことをご存じだった。それでもイエスは彼らをいやすことをこぼされなかった。これらのあわれな魂にキリストのいやしの力が及ぼされるときに、彼らは罪を自覚し、多くの者が、肉体の病気はもちろん、霊的な病気もいやされた。福音にはいまでも同じ力があるのだから、今日同じ結果が見られないはずがない。

キリストは苦しんでいるひとりびとりの魂の不幸をお感じになる。悪霊が人間の肉体を破滅させるときに、そのわざわいをお感じになる。高熱に生命の流れが焼きつくされるときに、イエスはその苦悩をお感じになる。そして主はご自分がこの地上におられたときと同じに、いまでもよくこんで病人をいやされる。キリストのしもべたちはキリストの代表者であって、キリストの働きのうつわである。主は彼らを通していやしの力を働かそうと望まれる。

救い主のいやしの方法には弟子たちにとって教訓があった。ある時、主は盲人の目にどろを塗って、「シロアム……の池に行き洗いなさい」とお命じになった。「そこで彼は行って洗った。そして見えるようになって、帰って行った」(ヨハネ 9:7)。病気は、大医師イエスの力だけでなおすことができるのであるが、それでもキリストは単純な自然の力をお用いになった。キリストは薬物療法に賛成ならなかったが、単純な自然療法を是認された。

苦しみをいやしてもらった多くの人々に、キリストは、「もう罪を犯してはいけない。何かもっと悪いことが、あなたの身に起るかも知れないから」と言われた(ヨハネ 5:14)。こうしてイエスは病気が神の定められた自然と霊的な法則を犯した結果であることを教えられた。人が創造主の計画に調和した生活を送り

さえすればこの世の大きな不幸は存在しないであろう。

キリストは、古代イスラエルの指導者また教師であられたが、健康は神の律法に従った報いであると、彼らにお教えになった。パレスチナで病人たちをいやされた大医師イエスは、古代イスラエルの民に雲の柱から彼らのしなければならぬことと、神が彼らのためになされることについてお告げになった。「あなたが、もしあなたの神、主の声によく聞き従い、その目に正しいと見られることを行い、その戒めに耳を傾け、すべての定めを守るならば、わたしは、かつてエジプト人に下した病を一つもあなたに下さないであろう。わたしは主であって、あなたをいやすものである」と、主は言われた(出エジプト記 15:26)。キリストは、彼らの生活習慣についてはっきりした教えをイスラエルに与え、「主はまたすべての病をあなたから取り去ら……れるであろうと保証された(申命記 7:15)。彼らが条件を果たしたときに、この約束は立証された。」「その部族のうちひとり倒れる者もなかった」(詩篇 105:37)。

この教訓はわれわれのためである。健康を保ちたいならばだれでも守らねばならない条件がある。だれでもみなこれらの条件がなんであるかを知らねばならない。主は、自然の法則であっても霊的な法則であっても、主の方法について人が無知であることをおよこびにならない。われわれは、霊的な面ばかりでなく、肉体的な面についても、健康を回復するために神と共に働く者となるのである。

そこでわれわれは、どのように健康を維持し、回復するかについて人々に教えねばならない。病気の人たちのためには、神が自然のうちにお備えになった療法を用い、健康を回復することがおできになるただひとりのおかたである神を彼らに指し示さねばならない。病人や悩める者たちを信仰の腕によってキリストにつれて行くことがわれわれの働きである。彼らが大医師イエスを信じるように教えねばならない。イエスの約束をとらえて、主の力のあらわれを祈らねばならない。福音の本質は回復であって、救い主は、われわれが病人や望みなき者や苦しんでいる者たちにイエスの力にすがるようにすすめることを望んでおられる。

キリストのすべてのいやしのわざには愛の力があつた。信仰によってその愛にあずかることによつてのみキリストのみわざのうつわとなることができるのである。もしキリストとの聖なるつながりをおろそかにするならば、生命を与える力の流れが豊かな流れとなつてわれわれから人々にながれることができない。人々の不信仰のために、救い主ご自身でも多くの大いなるみわざをなすことがおできにならなかつたところがあつた。同じようにいまも、不信仰が教会を聖なる助け手であるイエスから引き離している。教会は永遠の現実をしっかりととらえていない。教会に信仰が欠けているために神は失望され、神の栄光が失われている。」

条件がある：

「主は彼らを通していやしの力を働かそうと望まれる」とは、今日のご自分の教会のことも指しておられると素直に解していいのではないだろうか。

出エジプト記 15:26 の言葉によると、「あなたが、もしあなたの神、主の声によく聞き従い、その目に正しいと見られることを行い、その戒めに耳を傾け、すべての定めを守るならば」という条件がついている。

初代教会には著しく癒しの奉仕が見られた。くすしきみ業を行う聖霊は次の二つの条件のもとに与えられる。彼らは①純粋に神の言葉を信じ、②神のおきて、いましめに従つたからであつた。

① エペソ 1:13 「あなたがたもまた、キリストにあつて、真理の言葉、すなわち、あなたがたの救の福音を聞き、また、彼を信じた結果、約束された聖霊の証印をおされたのである。」

② 使徒行伝 5:32 「わたしたちはこれらの事の証人である。神がご自身に従う者に賜つた聖霊もまた、その証人である。」

神のおきてに従ふことなしの安価な信仰によるいやしが今日流行しているが、真の神からの癒しではない。サタンも世の終わりに近づけば近づくほど、また、後の雨—聖霊降下の注ぎが近づけば近づくほど、本物に似せて癒しの奇跡をおこなうと預言されている。

神の律法が回復され、掲げられるに準じて聖霊の働き、奇跡とするしと不思議が伴うのである。初代教会はそうであつた。わが教会の再臨運動の初期の頃はそうであつた。野崎金一先生の「生きた宗教の体験集」にそれを見ることが出来る。

大争闘下 209 ページにこう書いている：

「神の律法が、その正当な位置に回復されて初めて、神の民と称する人々の間に、初代の信仰と敬虔のリバイバルが起こり得るのである。」

初代教会の信仰と敬虔のリバイバルには、癒しの奇跡も含まれている。

大争闘下 381～383 頁にそれを見ることができる。

後の雨／大いなる叫びの約束が完全に成就する時

「第三天使の使命の宣布に協力する天使は、その栄光で全地を照らすのである。ここに、全世界的で比類のない力を持った働きが予告されている。1840年から44年に至る再臨運動は、神の力の輝かしいあらわれであった。第一天使の使命は、世界の各伝道地に伝えられた。そしてある国々においては、十六世紀の宗教改革以来どの国にもなかったような大いなる宗教的関心が引き起こされた。しかし、第三天使の最後の警告下における大運動は、これをはるかに超えるものとなるのである。

...

福音の大いなる働きは、その開始を示した神の力のあらわれより劣るもので終わることはない。福音の開始にあたって秋の雨(前の雨)となって成就した預言は、その終局において、春の雨(後の雨)となって再び成就するのである。...

神のしもべたちは、きよい献身の喜びに顔を輝かせ、天からの使命を伝えるために、ここかしこと奔走する。全世界の幾千の声によって、警告が発せられる。奇跡が行なわれ、病人はいやされ、しるしと不思議が信じる者に伴う。サタンもまた、偽りの不思議を行ない、人々の前で天から火を降らすことさえする(黙示録 13:13 参照)。こうして、地上の住民は、立場を明らかにしなければならなくなる。」

「夜の幻で神の民の間における大改革運動がわたしに見せられた。多くの者が神をほめたたえていた。病人はいやされ、奇跡がもたらされた。」 9T 126

福音の本質は回復である。それは、肉体、知性、霊性の回復を含んでいる。三天使の使命は主の大いなる日に人々を備える働きである。三天使の使命の重要な位置を占めているのが「真の医事伝道である」。「医療事業」ではない。真の医事伝道は預言の霊に定義されているが、その通りに行われていないのが現状である。

神が初代教会のような、再臨運動初期のような著しい癒しの奇跡が行われるといとも簡単に福音は人々に受け入れられることだろう。多額な宣伝費用も要らない。

ではなぜ、今日著しい癒しの奇跡がなされないのか？

教会は、深いラオデキヤ状態、背教に陥っているからである。特に 1888 年の「最も尊いメッセージ」を拒んで以来、教会は更なる深いラオデキヤ状態に陥ったからである。しかし、今日でも癒しの奇跡が全く見られないわけではない。確かにここかしこに奇跡のレポートは聞かれる。神の憐れみで忠実な僕らの祈りにお答えになることがあるのは事実である。

1. み言葉による癒し

神の言葉によるいやしの例が聖書にいくつもある。言葉が植物に影響を及ぼすことは良く聞く。最近、水の結晶にさえ影響を及ぼすことを読んだ。まして神の言葉は人間の癒しに大いに影響を及ぼすに違いない。

マタイ 8:8 「そこで百卒長は答えて言った、『主よ、わたしの屋根の下にあなたをお入れする資格は、わたしにはございません。ただ、お言葉を下さい。そうすれば僕はなおります。』」

ヨハネ 11:43 「こう言いながら、大声で『ラザロよ、出てきなさい』と呼ばわれた。」

「医者には神のみ言葉の約束に患者の心に向ける尊い機会がある。医者は宝の倉から新しいものと古いものを取り出し、患者が切望している慰めと教訓になる言葉をいろいろと語るべきである。医者は自分の頭を、生き生きとした考えの倉とすべきである。神の約束がよくわかるように医者は神のみ言葉を熱心に研究する必要がある。神のことを教え、病人をいやすときに、キリストがこの地上に伝道されていたとき、お語りになった慰めの言葉を繰り返すことができるようにすべきである。キリストがお働きになったいやしの業や、その優しさや愛について語るべきである。患者の気持を大医師であるキリストに向けることを決し

て怠ってはならない。

キリストが目に見える姿で人々の間を歩かれていた間、お使いになったのと同じ力がキリストのみ言葉の中にある。そのみ言葉によってイエスは病気をいやし、悪鬼を追い出された。言葉によって海をしずめ、死人をおよみがえらせになった。人々がキリストのみ言葉に力があることをあかしした。...

聖書は単に書かれたものとしてだけでなく、わたしたちに向かって語られた神のみ言葉として受けなければならない。病人がキリストのところに来たとき、キリストは、そのとき助けを求めた者だけをごらんになったのではなく、同じ要求同じ信仰をもってキリストに来る各時代の人々をもごらんになっている。中風の人に向かって「子よしっかりしなさい。あなたの罪は許されたのだ」と言われたときも、カペナウムの婦人に向かって「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい」と言われたときも、イエスに助けを求めなければならない他の病人や罪に悩む人々に向かって語られたのであった。

神のみ言葉の約束はみなそうである。それらの約束を通して神はわたしたちひとりひとりに向かって語られ、また、直接にみ声を聞いているかのように語っておられる。これらの約束によってキリストは恵みと力をわたしたちにお与えになる。それは「万国の民をいやす」木の葉である。これを受け入れ、自分のものとするとき、品性の力となり、靈感が与えられ、生命を維持する者となる。こういういやしの力を持った者は他にない。これ以外にどんなものも全身に活力を与え、勇気と信仰を授けることはできない。」ミニストーリー-91、92

神の言葉を記憶して必要に応じていつでもそれを用いることができるようにしたいものである。

2. 信仰による癒し

「もし病人に大治癒者たるイエスを信仰によって見させることができるなら、不思議な結果が見られるであろう。」ミニストーリー-37

「...不注意な接触は、信仰の接触と異なる。キリストを単なる世の救い主として信じることだけでは、いやしは決して与えられない。救いにいたる信仰は、ただ福音の真理に同意することではない。真の信仰は、キリストを自分の救い主として受け入れる信仰である。...

多くの人は信仰を一つの見解として持っているが、人を救う信仰は一つの取引であって、キリストを受け入れるものはこれによって、神との契約関係に入るのである。」同 37

「その一触には彼女の命がけの信仰が集中されていたので、直ちに彼女の痛みも病弱も消えてしまった。」同 35

「どうして我々は医者であられる神にもっと大きな信仰を働かせないのだろうか？中風患者に働かれたように、主は、いやしを求めてくる者に今日も働かれるであろう。我々はもっと信仰を必要とする。わが民の間に信仰の欠如を見るときに、わたしは驚く。我々は肉体的、霊的弱さをいやしてくださることを信じてキリストのみ前に来る必要がある。我々はあまりにも信仰がなさすぎる。ああ、わたしは神に信仰を持つように民を導くことができたらと願う。...天の父は信頼できる方として行動しなさい。」 1NL 11.3

ベテスダの池でイエスは 38 年間病んでいた病人をいやされた。

「イエスは、この病人に、わたしを信じる信仰を働かせなさいとは要求なさない。主はただ「起きて、あなたの床を取りあげ、そして歩きなさい」と言われる(ヨハネ 5:8)。しかしこの男の信仰はそのことばをしっかりとらえる。どの神経もどの筋肉も新しい生命に躍動し、不具の四肢に健康な動きがあらわれる。何にもたずねないで、彼はキリストのご命令に自分の意思を従わせる...。」1 希望 245

「この人は、『主よ、もしあなたがわたしをなおしてくださるなら、あなたの言葉に従いましょう』と言うこともできた。彼はいやされる唯一の機会を疑いのために失ったかもしれない。しかし彼はキリストの言葉を信じ、自分がいやされたと信じた。そしてすぐに努力をしたので、神は彼に力を与え、彼は歩こうと志し、そして歩いた。キリストの言葉に従って行動し、いやされたのである。」ミニストーリー-56

「教会に信仰が欠けているために神は失望され、神の栄光が失われている。」3 希望 373

幸いなことに、神は我々の信仰の弱さを助けてくださる。

「キリストはその女の大きな必要をみとめて、彼女が信仰を働かせるのを助けられた。」ミニストリー-35

本人の信仰と仲間の信仰を見て：マタイ 9:2

「すると、人々が中風の者を床の上に寝かせたままでももとに運んできた。イエスは彼らの信仰を見て、中風の者に、『子よ、しっかりしなさい。あなたの罪はゆるされたのだ』と言われた。」

3. 祈りによる癒し

祈りによって癒された例もいくつもある。ヤコブ 5:14-16

「あなたがたの中に、病んでいる者があるか。その人は、教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリブ油を注いで祈ってもらうがよい。信仰による祈りは、病んでいる人を救い、そして、主はその人を立ちあがらせて下さる。かつ、その人が罪を犯していたなら、それもゆるされる。だから、互に罪を告白し合い、また、いやされるようにお互いのために祈りなさい。義人の祈りは、大いに力があり、効果のあるものである。」

4. 自然の単純なものを用いて癒す

信仰と祈りによる癒しを求めるのであるが、主の僕はこうも言っている：

「世には多くのいやしの方法があるが、天が承認するのはただ一つだけである。」5T443

「健康回復のために自然の療法を利用するのを怠ってはならない。

ここにまたよく陥る危険がある。ある者は祈りがこたえられていやされることを信じ、信仰の不足を示すようなことをしてはならないと思っ、何もしない。しかし、死ぬと思われたならばその前にきちんとしておきたいと思ういろいろなことを怠ってはならない。臨終に際し、愛する者に語りたいたいと思っていた励ましの言葉を与えるのを恐れてはならない。

祈りによっていやされようと求めている者は与えられている治療法を用いるのを怠ってはならない。苦痛を和らげ、健康を回復する自然の働きを助けるために神が備えられた治療法を用いること、神と協力して回復に最も適する状態にすることは信仰の否定にはならない。神は生命の法則に関する知識を人間の力で得られるようになさった。

この知識はわたしたちが利用するために手の届くところにおかれている。健康回復のためにはあらゆる手段、できるかぎりの好機を利用して自然の法則に調和するように働かなければならない。病人がいやされるようにと祈るとき、神と協力する特権を感謝し、神が備えられた手段が祝福されるように願いつつ、さらに力を入れて働くことができる。……

このいやしはただ大治療者の力によってなされたのであるが、キリストは自然界の簡単な手段を利用された。彼は薬剤による治療を奨励されなかったが、のである。」ミニストリー-209-210、3 希望 371

単純な自然の療法を用いることを是認されたいやしの技を行う方法は多くあるが、天が是認する方法は一つだけである。神の療法は単純な自然の働きであって、それはその強い特質によって身体組織に負担をかけたり、これを弱らせたりはしない。新鮮な空気と水、清潔、適切な食事、純潔な生活、及び神への堅い信頼などが療法であって、その欠乏のために幾千万の人々が死につつある。にもかかわらず、これらの療法を巧みに活用するには、人々はありがたく思わないような努力を要するので、それらは時代遅れになりつつある。新鮮な空気や運動、きれいな水、また住居の周囲を清潔に気持ちよく保つことなどは、ほとんど出費なくすべての人に得られるものであるが、薬品は金銭の支出においても、身体に及ぼす影響においても高くつく。」 食事と食物に関する勧告 280

ミニストリー-96-98 より引用する。

薬品の使用

「有毒な薬品をむやみに使うことは多くの病気のもととなり、もっと悪いことの原因となる。病気になってもその原因を調べるのにほねをおくことは少ない。ただ苦痛と不便を取り除くことに病人は最も心配する。その結果、実際の性質がほとんどわからない売薬にたよるか、または、自分の不健康な習慣を変えようとは考えもしないで、自己のまちがったやり方の結果を打ち消すために何らかの治療を医者に求める。そして、すぐ効果がないと、次から次へと薬をためしてみる。こうして、わざわざいが絶えないのである。

薬は病気をなおさないことを人々に教えねばならない。一時的な助けとなることがあるのは確かで、薬を使ったため回復したかのように見えるが、それは体力の中に毒素を排泄して病気を引き起していた状態をなおすに十分な活力があったからであって、薬品を使用しなくても健康は回復したのである。しかし、たいていの場合は、ただ、病気の性質と所在を変化させるにすぎない。しばしば毒素の影響が一時おさえられたように見えるが、その結果は組織に残り、後日、非常な害を及ぼすに至る。

有毒な薬品を使用するため多くの人が終生の病を招き、自然の療法を使えば助かったのに多くの生命が失われていく。いわゆる、治療薬と呼ばれている大多数の薬品に含まれている毒は心身の破滅をきたすような習慣や食欲を作る。特許薬と呼ばれている有名な売薬中の多くのものや医者処方したある種の薬でさえ飲酒や阿片、モルヒネの習慣の基礎を築く助けとなるが、これは社会にとって非常に恐ろしい災である。」

自然力が持つ回復の力

「改善への唯一の望みは人々を正しい原則に教育することである。薬に回復力があるのではなく、自然のうちにあることを医者は人々に教えるべきである。病気とは健康の法則を犯した結果起った状態から身体の組織を解放しようとする自然の営みである。病気の時にはその原因を確かめねばならない。不健康な状態を変え、まちがった習慣はなおさなければならない。そして不純物を排泄し、組織を正常な状態に戻そうとする自然の営みを助けなければならない。」

自然療法

「新鮮な空気、日光、節制、休養、運動、正しい食事、水の使用、そして神の力にたよること、これが真の療法である。各自が自然のうちにある治療に役立つものを知り、これをどう用いるかを知らなければならない。病気の治療に関する原理を理解すること、この知識を正しく活用しうる実際的訓練を受けることがたいせつである。

自然療法を用いるには相当の配慮と努力が必要であるため、喜んで実施する人は少ない。自然がもつ治療と回復の過程は緩慢であって、忍耐力が欠けている者にはおそく見える。また、有害な不節制をやめるには犠牲がいる。しかし自然力の働きを拘束しなければ、最後には、自然はじょうずにまた賢明に、その働きを仕遂げることがわかるであろう。自然の法則に忍耐強く服従するものは心身の健康という報いを刈り取るのである。

我々の救い主は人間のうちに神の道徳のみ像を回復するお方である。彼は人間の病のために自然界の療法を提供された。」

そして主の僕は薬草の使用のこともかなり書き残している。

「病人をいやす真の方法は、薬草は人間の益のためにあることを伝えることである。」(MS105,1898)とも言うておられる。

医者最初の働きは、病気を予防するために教育することであると言われていたが(MS22,1887 参照)、もし病気になった場合には、自然の療法を使うと「10人のうち9人は病気から回復するであろう」と言われている。(同)我々はその神の方法で病人を治療する「サナトリウム」が必要だと主の僕に示されたのであった。

「薬を使わない神の癒しの方法がすべての大都市の医療機関で顕著にされなければならない。」9T169

「我々は健康を回復するために自然が与える単純な療法の使い方を理解できるよく訓練された看護婦が必要である」Testimony B-90,1908 とも言われている。

5. 奇跡—神はご自分の栄光のために奇跡を行われることも信じなければならない。

健康改革の原則を教えることによる癒しの奇跡を見せてくださることもある。愛の力による癒しの奇跡も体験している人々がいる。聖霊の作用によるいやしを使徒たちは経験した。

「キリストを最も多く愛する者は最も多くよいことをする。自我を捨てて、聖霊が心に働かれる余地をつくり、神にまったく献身した生涯を送る者の有用さには限りがない。もし人々が、不平を言ったり、途中で弱ったりしないで、必要な訓練に耐えるなら、神は日々に、時々刻々に彼らを教えてくださる。神はご自分の恵みをあらわそうと熱望しておられる。もし神の民が障害をとり除くなら、神は人間という水路を通して救いの水の豊かな流れをそそがれる。もしいやしい身分の人たちを励まして彼らのできるよいことをさせるならば、またもし彼らの上にその熱意をおさえるような抑制の手がおかれなければ、いまキリストの働き人が一人しかいないところに百人の働き人がいるであろう。」

しかし、すべての病がいやされるとは限らない。一生病を背負うこともある。眠りにつくこともある。いずれにしても、我々は罪を許されて、永遠の生命が保証されたら安んじることができる。ダニエルの友人が火の炉の中に投げ込まれる時に表した信仰を持ちたいものである。「もしそんなことになれば、わたしたちの仕えている神は、その火の燃える炉から、わたしたちを救い出すことができます。また王よ、あなたの手から、わたしたちを救い出されます。たといそうでなくても、王よ、ご承知ください。わたしたちはあなたの神々に仕えず、またあなたの立てた金の像を拝みません」。ダニエル 3:17,18

今日、神の力と栄光があらわれるため、「真の医事伝道」が復興されることを願うものである。

「真の医事伝道」は福音の右腕である。三天使の使命を心に入り込ませる「くさび」である。今日はその右腕がなえている状態である。三重の使命と「真の医事伝道」が結合される時、神の約束が成就されるのを見るであろう。「しるしと不思議といやしと奇跡」が謙遜な器を通してなされるのである。

それには「初代教会の信仰と敬虔の復興」が不可欠である。

こういう歌がある。「ネバー ギブ アップ」(あきらめることなかれ、やがて夜は明けん)

第七日安息日再臨待望者の皆さん、主が約束を果たされる、後の雨一大いなる叫びが非常に迫っている。キリスト初臨の時のようなセブンスデー・アドベンチストの倦怠感に押し流されないで、「み民イスラエルの栄光」が現されるまで祈り、求め、待ち続けようではないか。

神の教会に主の約束が早く成就するように祈りたい。

「御霊よくだりて、昔の如く くすしきみ業を 現したまえ」賛美歌

311

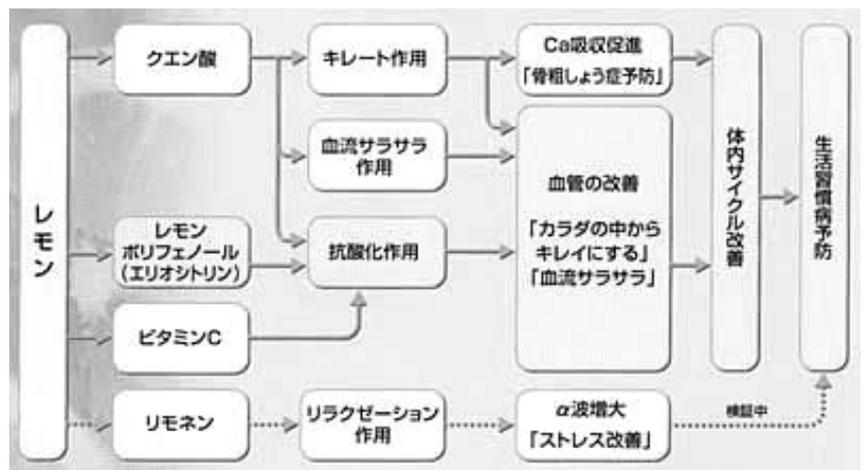


注目されるレモンの「ポリフェノール」！！

生きていくのに大切な栄養素は、「タンパク質」「脂肪」「炭水化物」の三大栄養素といわれてきた。現在では、これに「ビタミン」、「ミネラル」を加え五大栄養素とする考えが一般的だという。しかし、近年、健康を長続きさせるには、抗酸化物質が必要なのではないかとされている。

抗酸化物質というのは、活性酸素を抑える役目がある物質のことである。

活性酸素には、体内に侵入した病原菌を殺菌する働きがある一方で、細胞などを攻撃したり、体を酸化させたりする働きがあると考えられている。



紫外線や放射能を浴びたり、激しい運動をすると、この活性酸素が体内中で多く発生して、人体の防御能力が弱くなり様々な病気にかかりやすくなる。

このようなことを「身体が錆びる」と言い表すことも多くなっている。

もともと人間は体内で抗酸化物質を作り出す能力があるのだが、研究を重ねるうちに、これを食物から取り入れていることがわかった。活性酸素は体内で悪玉 コレステロールと結びつき、血管を詰まらせていくのだ。

これが動脈硬化や血管系疾患、心臓病などの原因となるのである。

さてここで「レモン」の登場だ。レモンにはビタミンCが含まれているのは周知の事実。実は、ビタミンCも立派な抗酸化物質なのである。そこで、お茶の水女子大、近藤教授の実験によると、レモン果汁と、同量のビタミンCを試験管にとり、抗酸化力を調べたところ、「ビタミンCの抗酸化力はレモン果汁の約半分ほどで、レモン果汁はビタミンC以外にも抗酸化物質を含んでいる」という結果になった。

その抗酸化物質が「エリオシトリン」というポリフェノールなのだ。

ついに動き出したアメリカー国主義

20 ドル紙幣に隠された米国同時多発テロの真相？

ウクライナの「ザ・タイムズ」03, 1-4 誌に次のような記事が出た。

法王が新世界秩序を呼びかける

ローマ発：法王はかなり弱っているが、昨年よりは少し容態がよくなっていて、新年の説教の中で世界を大惨事と「復讐への欲望」から救うために新世界秩序の必要を訴えた。これは、人間の威厳を促進し、貧富の差を縮めることによって達成される。その新秩序は全人類のために国連の経験、社会の開発、科学的、技術的進歩を活用すべきである、と法王は語った。」

2001年9月11日に起こった米国同時多発テロ事件。それを陰謀説と唱える人がいるが、それは事実かもしれない。そして、その真相はなんと20ドル紙幣の中に隠されているとか...？

単なる偶然の一致なのか？それとも仕組まれた陰謀だったのか？

1

1. 20ドル紙幣を右のように半分に折る
2. 図柄が上記の画像のようになるように注意して折る。
すると……

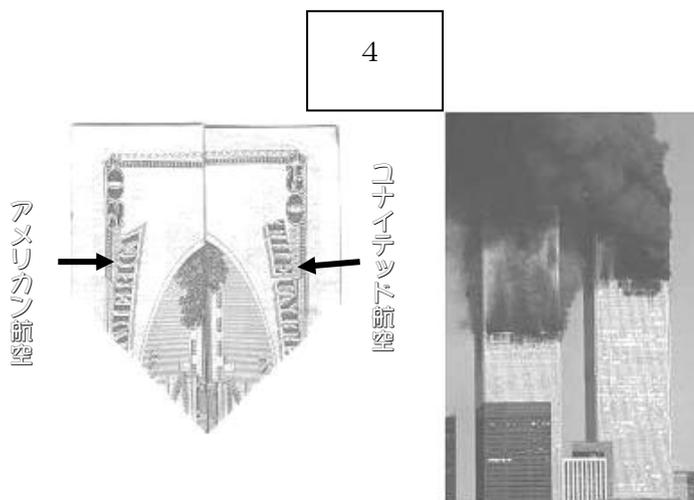
2

3. ペンタゴン（米国国防省司令部）のビルが破壊された時の様子が見えますか？

裏返して見ると、さらに……

3

4. 世界貿易センタービル (WTC) (ツインタワー)が破壊され、黒煙を上げる姿が…



アメリカでも紙を折って何かを作る事を一般的にも日本語と同様に「オリガミ」というのですが、日本流にホワイトハウスの描かれた 20 ドル紙幣を”オリガミ”すると、日本人が設計したツインタワー、WTCの終焉が浮き出されるとは…。しかも、そのビルに突っ込んできた飛行機の会社名まで出てくるとは不思議ですね。

でも、アメリカには他にも 1 ドル、5 ドル、10 ドル、50 ドル、100 ドルと紙幣があるのに、なぜ 20 ドル紙幣なのでしょう？

事件の起こったのは 9 月 11 日で、9+11 は=20 となるという！しかも 9.1.1 はアメリカではエマージェンシー・コール (緊急呼び出し番号) です。日本では 110 番ですね。

アメリカでは実しやかに伝えられている話だそうですが、あなたはどう思いますか？

2001 年 9 月 11 日は新世界秩序記念日？

1990 年 9 月 11 日はペルシャ湾岸危機が起きて 1 ヶ月目のこと、当時のアメリカ大統領だった父ブッシュが、連邦会議で「Toward A New World Order(新世界秩序にむけて)」という題名で演説を行った。「ペルシャ湾岸危機は、一致協力の歴史的時代を実現させるためのまれに見る好機を与えてくれた。この厄介な時期を抜け出せば、一大新世界秩序の出現を見ることができよう。我々は今、国連創設者たちが思い描いていたとおりに働く光景をこの目で見るべきところまできている。」

父ブッシュ大統領の前にソ連のゴルバチョフはすでに「新世界秩序」を謳っていた。そのためにソ連を葬った。しかし、忘れてならないことは、聖書と証しの書と、イエズス会士、マラカイ・マーチンによると、それを狙っているのはローマ法王教であるということである。

黙示録 13 章によると中世時代に 1260 年間ヨーロッパの政治、経済、宗教を支配したのはローマ法王教であった。今度は再び世界を支配しようと狙っているが、その計画を実現させるのは米国である。

不思議に 1 ドル紙幣にラテン語で「Novus Ordo Seclorum、ノバス・オード・セクロラム」(新世界秩序)という言葉が刻まれている。十三段ピラミッドの下部に「MDCCLXXVI」と書かれ、解くと 1776 年となるそう。これはアメリカの独立記念日とも関係が無く、イルミナティ (メーソン同様の秘密結社とされる) の創設記念日 (1776 年 5 月 1 日) である。(アメリカが正式に独立したのは 1783 年のパリ講和条約によってである。)

息子ジョージ・W. ブッシュ大統領は言った：

「真に偉大な人物の一人、法王ヨハネ・パウロ 2 世に敬意を払う最上の方法は、彼の教えをまじめに受け取り、彼の言葉に聞き、その言葉をこのアメリカにおいて実行に移すことである！」 Patricia Zapoa, Catholic New Service, 3-24,2001.

昨年のアメリカの行動は世界をそして日本を騒がせた。ついに「神の国」アメリカの一国主義が動いたのだ！「龍のように物を言う」ことが始まったという人



もいる。

「すべては01・9・11から始まった。両タワーの崩壊ほど強烈な印象を与えたものはない。」と書き下した一冊の本が私の目にとまった。「ブッシュの神と神の国—アメリカ」—宗教が動かす政治—(栗林輝夫著)という本である。薄い本であるが、興味深い。

この本は、アメリカ憲政史上「最も公然たる宗教的大統領」ブッシュの目論見は、アメリカを中軸とした「新世界秩序」(世界統一政府)を作り出すことだということを説いている。彼ほど神の名をひんぱんに持ち出す人はいないという。「神の国」日本がやったように、アメリカも危険な道を突き進んでいる。

動き出したアメリカはストップのきかない勢いで、なだれのように新世界秩序構築に向かうであろう。黙示録13章の預言、各時代の争闘下巻の25章、35章をよく読んでおこう。



聖書の預言を通してでなければ今後の世界の動きは読めないほど転変する。

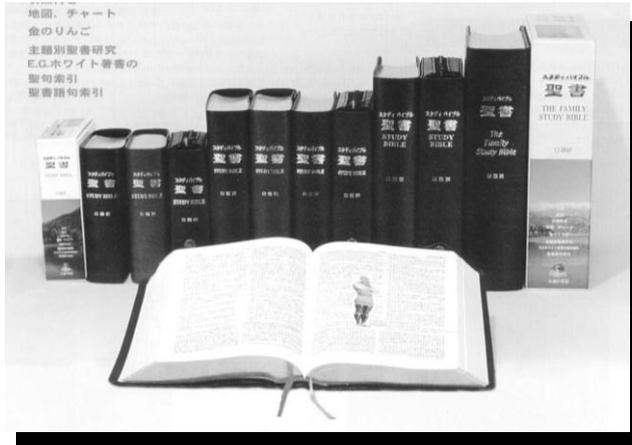
サタンも、そして神も著しく働く時が来ているのである。



「セブンスデー・アドベンチストの教え—徹底検証」 400円

改革運動教会の教えを論ずることは、最終時代の神の民にとって最も重要な問題を扱うことになる。144,000、後の雨、大いなる叫び、印する働き、完全な品性、レムナント(残りの民)、日曜休業令などは、生きて主を迎えるために明確にされなければならない問題である。わが教会には、残念なことに生きて主を迎えることと、死んで主を迎えることの違いが分からない人が多い。これらの問題は救いと関係がないし、重要ではないと思っている人が多い。これらの主題を研究することによってセブンスデー・アドベンチストは残りの教会であることの確信をつかむであろう。

書籍案内



スタディ バイブル

口語訳聖書

E.G.ホワイト注解(翻訳・出版されていないもの)
脚注

引照付き

地図、チャート

金のりんご

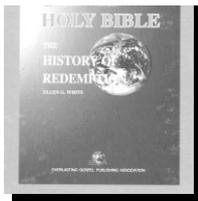
主題別聖書研究

E.G.ホワイト著書の聖句索引

聖書語句索引

大型	14,000 円
中型	11,000 円
小型	8,000 円
ファミリーサイズ もあります。(特売 中—14,400 円)	

この「スタディ バイブル」は、弊社が1991年度から初版(英文)を、1995年度に第二版(標準英文版)を発行して以来、年月の重なるに従って、その重要性が増してきました。その後、数多くの出版社を通じて韓国語版(1995年)とスペイン語版(1998年)が出版されました。それからアメリカのミッション出版社からはReview and Herald 印刷所を通じて現在までの出版が続いており、また、数多くの国々で各種の方言での出版が続いています。「スタディ バイブル」は10余年の歴史の中で多くのキリスト者の方々に貴重な聖書として評価されています。



- 英文 : Holy Bible(KJV) and the Spirit of Prophecy

大争闘シリーズ、祝福の山、キリストの実物教訓、キリストへの道
聖書には、証の書の参照ページが記されている。革製—¥5,500

- 英文 : 大争闘シリーズ+SC,MB,COL —¥4,000

英語読める方には、大変便利!

- 日本語でも証の書合本があります。18,000 円

- 英文 : ポケット大争闘シリーズ+SC,MB,COL—¥4,000

Counsels on Diet and Foods

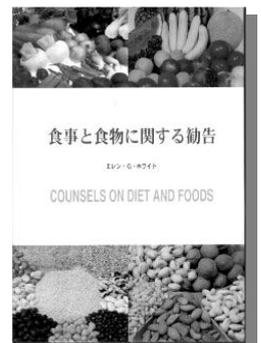
新発行 E.G.ホワイト著 食事と食物に関する勧告

近年になって、やっとな病の原因、健康の秘訣は生活様式だといわれるようになったが、エレン・G・ホワイトが一世紀以上も前にそのことを強調したことに権威者たちも驚いているのである。

彼女の「食事と食物に関する勧告」はビタミンという言葉さえないときにかかれたものであるが、この書を読む人々に大いに健康と幸福をもたらす。

価格 : 2900 円(送料別)

サイズ : 15cm×21cm



現代の真理

この本を正しく研究するなら、再臨信徒の困惑を整理し、魂の飢えを満たす。聖所の研究を通して終末事件、義認、清め、完全、主に会う備えの方法を知る。さまざまな教理の風に吹きまわされないために、正しく理解する必要がある。SDA 教理の真髄。主題別索引、聖句索引、証の書の索引付き、さらに質問でその答えを見出せるようにしてあるので便利。

価格：1,500 円（送料別） サイズ：15cm×21cm



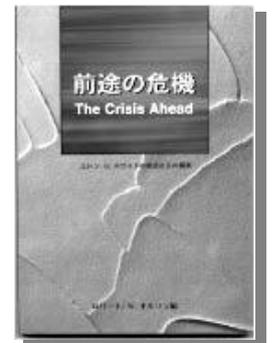
前途の危機 ロバート・W・オルソン編

将来のこと、恩恵期間の終わり、悩みの中のための備えの働き、救いにいたる知恵が預言の中にはっきり示されている。

「しかし、多くの人々は全然啓示を受けなかったかのようにこれらの重要な真理を理解していない」（大争闘下 359, 360）。それは「順序どおりに成就する」（国と指導者下 144）。E. G. ホワイトの著述からの編集。全部質問形式で、答えを証の書から引用。索引付き。

価格：1,800 円（送料別）

サイズ：18cm×25cm



編集後記：

アンカーを楽しみにしておられる方々のためにもっとひんぱんに発行しなければならないと思いつつ、延びに延びてしまいました。怠慢をお許してください。

終末に向かって天体時計の速さが変わったのではないかと思うほど、あっという間に 2003 年も過ぎてしまいました。昨年あのニューヨーク同時多発テロ事件から始まったブッシュ政権の強引なイラク戦争に世界は振り回された始末。とうとう日本も世論の多くの反対の中、善し悪しの激論のすえ、自衛隊派遣決行。アメリカの月面旅行もうそだったとか、ケネディ元大統領暗殺はジョンソン副大統領の陰謀だったとか....、その暗殺はイエズス会の陰謀だったとする 694 頁の分厚い本も出ています。マスコミの報道を本気で信じていたことが崩されることがあります。マスコミの報道をうのみにする危険をつくづく感じさせられます。預言の言葉、靈感の書をしっかり読んで真の識別力を養いたいものです。

大晦日にお年寄りの方々は懐かしむだろうと紅白歌合戦をテレビで一緒に見ました。歌の墮落に驚きました。わが教会で歌われる歌の変化を嘆く者も少なくないようです。世の波に流されるのではなく、天に移される準備をしたいものです。

もう永遠のみ国は遠くはない。再臨信仰に弱り果てることなく天路歷程をまじめに歩みましょう。

「終末時代の音楽戦略」 ¥450

人心をとらえるサタンの魅惑的な音楽が多くの魂を墮落させている。それは残りの教会にも侵入してきている。ヨルダンを渡る前のイスラエルに仕掛けられた罠のように。

発行：サンライズ・ミニストリー

〒905-0428 沖縄県国頭郡今帰仁村今泊 1471

Tel: 0980-56-2783 Fax: 0980-56-2881 Email: sanchor@cosmos.ne.jp

郵便振込み番号：02080-0-12121